

# ○国立大学法人埼玉大学研究機構脳末梢科学研究 センター規程

〔平成26年3月20日  
規則第37号〕

(趣旨)

**第1条** この規程は、国立大学法人埼玉大学研究機構規程第4条第4項の規定に基づき、脳末梢科学研究センター（以下「センター」という。）に関して、必要な事項を定める。

(目的)

**第2条** センターは、本学における研究拠点として、脳科学、脳末梢機能関連研究及び脳科学関連技術研究の推進を図るため、生命科学、理学及び工学的見地から脳機能の解明と応用、並びに脳と末梢の機能関連及び脳の発生・発達、そして脳・神経疾患の原因や診断・治療に関する研究を行い、その成果の社会への還元を目指すことを目的とする。

(部門)

**第3条** センターに、次の部門を置く。

- (1) 脳機能解析応用部門
- (2) 脳末梢機能関連研究部門

(業務)

**第4条** センターにおいては、次に掲げる業務を行う。

- (1) 脳機能解析応用部門

脳機能、脳の発生・発達機構及び脳・神経疾患の原因を解明し、脳科学関連技術の開発・応用を行う。

- (2) 脳末梢機能関連研究部門

脳末梢機能関連による恒常性の維持、生体調節機能に関わる機構の解明を行う。

(組織)

**第5条** センターに、次の教職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 兼任教員
- (3) その他の教職員

2 前項に定めるもののほか、副センター長を置くことができる

(センター長)

**第6条** センター長は、本学の専任教授をもって充て、学長が委嘱する。

2 センター長は、センターの管理運営を掌理する。

3 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、センター長に欠員が

生じた場合の後任のセンター長の任期は、前任者の残任期間とする。

(副センター長)

**第7条** 副センター長は、兼任教員のうちから、センター長が指名する者をもって充て、任期はセンター長がその都度定める。

2 副センター長は、センター長の業務を補佐する。

(兼任教員)

**第8条** 兼任教員は、脳科学、脳末梢科学及び脳科学関連技術研究に関する専門的知識を有する本学の教員のうちから、学長が委嘱する。

2 兼任教員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、兼任教員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター会議)

**第9条** センターにセンター会議を置き、次に掲げる事項を審議する。

(1) 運営の具体的方策に関する事項

(2) 自己評価に関する事項

(3) その他センターに関する事項

**第10条** センター会議は、次に掲げる委員をもって組織する。

(1) センター長

(2) 兼任教員のうちから、センター長が指名する者

(3) その他センター長が必要と認めた者

**第11条** センター会議に委員長を置き、センター長をもって充てる。ただし、センター長に事故あるときは、センター長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

2 委員長は、センター会議を招集し、その議長となる。

3 センター会議は、委員総数の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

4 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 議長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(部門委員会)

**第12条** センター会議の下に、部門委員会を置く。

2 部門委員会は、脳機能解析応用部門、脳末梢機能連関研究部門ごとに、各部門の専門的事項を検討する。

3 部門委員会に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

(事務)

**第 13 条** センターの事務は、研究協力部研究協力課において処理する。

(雑則)

**第 14 条** この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項は、別に定める。

**附 則**

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成31年3月31日限り、その効力を失う。